

銀の皿

「ペテロの告白」



ペテロはよくお調子者でおっちょこちょいと揶揄されますが、私はそうは思いません。純粹で熱血漢というイメージがあります。だから「あなたのためにはいのちも捨てます。」という彼の告白はその時の精一杯の告白だと思います。しかし結果、彼は三度イエス様を知らないと言い、イエス様を裏切ります。彼は純粹で熱心な性格の故に、自分の隠れた罪性を受け入れ切れませんでした。涙を流してイエス様の前から逃げだしてしまったのです。

しかしそんな彼の前にイエス様は再び現れました。ペテロはイエス様の復活の意味、これから自分が世に遣わされる事、すべてを理解したわけではありません。しかし、罪を犯した自分を受け入れて下さっている、イエス様の柔和な心をこの時深く知ったのです。ペテロは後にこのように言っています。Ⅰペテ5:2 あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。彼はイエス様の昇天後、聖霊の力によって、キリストの復活の意味、そして自らがその証人としてたてられている事をはっきり理解しました。宣教者として、彼は苦難と信仰の戦いを何度も経験しますが、その中で何度もイエス様と出会い、魂が砕かれて、このような告白をする者へと変えられて行ったのです。

私達は信仰生活の中でペテロのように熱心さが過ぎてしまったり、自らの罪性を受け入れられない時があります。すると私達がすることは決まって人に指を指して怒りを発したり非難したりします。よく聞く例え話ですが、人にさした人差し指以外の中指、薬指、小指は皆自分に向かっています。しかし人は強情なのでそれでも自らの非や罪を認める事はできません。私達が悔い改める事の出来る唯一の方法は、イエスキリストに出会う事です。私の為の釘の傷跡、脇腹の傷跡、十字架の主を見上げる時、私達は自らの罪を告白し、赦しを乞う祈りへと変えられて行きます。聖霊が働くとき、私達は変えられ愛する者、柔和な者へと変えられて行きます。自らの栄光ではなく主の栄光を求める者へ、共に目指してまいりましょう。

